

## 平成 29 年度 傾斜的研究費（全学分） 研究報告書

【研究代表者所属】：創造技術専攻

【研究代表者氏名】：前田充浩

【研究代表者氏名フリガナ】：マエダミツヒロ

【研究代表者職】：教授

【国内研究分担者（所属、氏名、職）】

- ・ 倉都康行（RP テック、代表取締役社長）
- ・ 中沢賢治（元 EBRD ビシユケク事務所長）
- ・ 福永哲也（SADC-dfrc（南部アフリカ開発共同体－南部アフリカ開発銀行協会、アドバイザー）

【国外研究分担者（所属、氏名、職）】

- ・ Dr. Nguyen Manh Quan（ハノイ経営工科大学経営研究所（INBUS）所長）
- ・ Dr. Hieu Nguyen Trong（ハノイ経営工科大学教授）
- ・ Mr. Talaibek Koichumanov（キルギス大統領府投資委員会事務局長）

【研究実績の概要（600～800 字程度で記入。図、グラフ等の使用も可。）】

・ 今日、企業経営においては、関係者が適切な経営倫理を保持することが極めて重要になっている。一方で、適切な経営倫理の内容を確定することは容易ではない。最大の問題は、現在世界は、歴史的な激変（近代化の局面遷移）のただ中にあるため、社会を構成する多くの基本的な原理自体もまた大きな変化を遂げつつあることである。経営倫理を含む社会倫理の内容は、この原理の変化によって根本から変更される。このため、社会の変化前の原理に立脚して正しい、良い、と考えて行ったことは、社会の変化後においては無効、更には悪い、という評価を受けることになりかねない。

・ このため、今日必要とされているのは、第 1 に、近代化の局面遷移、すなわち社会を構成する基本的な原理の変化の内容を適切に捉える研究活動である。第 2 に、その結果導出される、現時点において適切な経営倫理を含む社会倫理の内容を関係者に対して適切に広報していくことである。

・ 以上の考え方に立脚し、『AIIT 経営倫理研究所（Epistemic Research Institute of Social Ethics : ERISE（エリス））』における研究を、以下の柱に基づいて実施した。

- ① 国際金融／開発金融のあり方
- ② SDGs（Sustainable Development Goals）に関連する企業の CSR

【学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）】

・

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

・

【作品等】

・

【科学研究費補助金への応募状況、採択状況】

•

【国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

•

【受賞等】

•

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]

•

【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】

(工業所有権の名称、発明者、権利者、工業所有権の種類・番号、出願年月日、取得年月日)

•

【研究分担額】

(研究代表者・分担者名、所属、金額 (円))

•